



作成：2011年9月14日  
改訂：2018年9月7日

## 製品安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名	フライガード・スプレー
会社名	製造販売元 田村製薬株式会社
住所	〒350-0404 埼玉県入間郡越生町成瀬 829 番 6 号
担当部門	品質保証部
電話番号	049-292-2150
FAX 番号	049-292-2983
推奨用途及び使用上の制限	植物油含有 ハエ忌避剤

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

引火性液体	区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2B
発がん性	区分 1A
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1 (肝臓)、区分 2 (中枢神経系)

#### GHS ラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語

危険



### 危険有害性情報

引火性液体および蒸気  
呼吸器・眼への刺激のおそれ  
発がんのおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系・肝臓の障害のおそれ

### 注意書き

#### 安全対策

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざげること。  
容器を密閉しておくこと。  
ミストの吸入を避けること。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

### 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
                  気分が悪い時は医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと、取り除くこと。  
                  皮膚を流水、シャワーで洗うこと。  
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズは外して洗うこと。  
                  その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、  
                  手当てを受けること。  
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。医師に連絡すること。

### 保管

密閉容器に入れ、涼しく換気の良いところで保管すること。

### 廃棄

地方公共団体の条例に従い、廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

单一製品・混合物の区分： 混合物

成分及び含有量

化学名または一般名	CAS番号	化審法	濃度又は濃度範囲
水	7732-18-5	対象外	社外秘のため非表示
ポリソルベート 80	9005-65-6	(8) -55	社外秘のため非表示
プロピレングリコール	57-55-6	(2) -234	社外秘のため非表示
エタノール	64-17-5	(2) -202	社外秘のため非表示
植物由来天然物香料	106-24-1	(2) -258	社外秘のため非表示
クエン酸	5949-29-1	(2) -1318	社外秘のため非表示
クエン酸ナトリウム	6132-04-3	(2) -1323	社外秘のため非表示

### 4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと、取り除くこと。  
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズは外して洗うこと。  
その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤： 霧状水、粉末消火剤、泡消火剤など
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 特有の危険有害性： 情報なし
- 特有の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
- 消防を行う者の保護： 消火作業では、適切な保護具（手袋・マスク・眼鏡等）を

着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 :	作業には必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。 換気を確保する。
環境に対する注意事項 :	漏出物を河川や下水に流してはならない。
回収、中和、封じ込め、淨化方法・機材 :	吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
二次災害の防止策 :	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

技術的対策 :	保護具を着用する 局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項 :	火気注意。

##### 保管

適切な保管条件 :	熱源や光源から離れた所で、涼しく乾燥した換気の良い場所に密封して保管すること。
安全な容器包材材料 :	情報なし

#### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 :	未設定
許容濃度 :	日本産衛学会(2013年度版) 未設定 ACGIH(2013年版) 未設定
設備対策 :	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置すること。

##### 保護具

呼吸用保護具 :	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具 :	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具 :	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 :	適切な保護衣を着用すること。



## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状態

性状 :	液体
色 :	淡黄色の澄明
臭い :	シトラス様の特異臭
臭いのしきい(閾)値 :	情報なし
pH :	情報なし
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲 :	情報なし
引火点 :	情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1) :	情報なし
燃焼性(固体、気体) :	情報なし
燃焼又は爆発範囲 :	情報なし
蒸気圧 :	情報なし
蒸気密度 :	情報なし
比重(相対密度) :	1.0
溶解度 :	情報なし
n - オクタノール/水分配係数:	情報なし
自然発火温度 :	情報なし
分解温度 :	情報なし
粘度(粘性率) :	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

安定性 :	通常の使用では安定
危険有害反応可能性 :	反応性は低い。
避けるべき条件 :	情報なし
混触危険物質 :	情報なし
危険有害な分解生成物 :	情報なし

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口 :	情報なし
経皮 :	情報なし
吸入 : ガス :	情報なし

吸入：蒸気： 情報なし  
吸入：粉じん及びミスト： 情報なし  
皮膚腐食性及び刺激性： 情報なし  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性： 情報なし  
呼吸器感作性： 情報なし  
皮膚感作性： 情報なし  
生殖細胞変異原性： 情報なし  
発がん性： 情報なし  
生殖毒性： 情報なし  
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)： 情報なし  
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)： 情報なし  
吸引性呼吸器有害性： 情報なし

#### 1 2. 環境影響情報

##### 生態毒性

水性環境急性有害性： 情報なし  
水性環境慢性有害性： 情報なし  
オゾン層への有害性： 情報なし

#### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、地方公共団体条例等に基づき処分すること。  
尚、水質汚濁防止法及び関連諸法に注意すること。  
汚染容器及び包装： 空容器を処分するときは、内容物を完全に除去したのちに行う。  
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

#### 1 4. 輸送上の注意

##### 国際規制

国連番号： なし  
国連品名： なし



容器等級：	なし
国内規制	
陸上規制情報：	消防法に定められている運送方法に従う。
海上規制情報：	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
海洋汚染物質：	情報なし
航空規制情報：	航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び 条件：	運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行い、法令の定めるところに従うこと。

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法	危険物・引火性の物 名称等を表示すべき危険有害物（法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9） 名称等を通知すべき危険有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9） リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第 57 条の 3）
---------	--

#### 16. その他

\*危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分にご注意ください。  
注意事項等は通常の取扱いを対象としており、特別な取扱いの場合はご配慮をお願いいたします。

##### ◆ 記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の改定により内容に変更が生じることもあります。ここに記載された情報は、情報の完全さ・正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。